

久喜市放課後子ども教室



くきっ子ゆうゆうプラザ

20周年記念誌



くきっ子ゆうゆうプラザ実施委員会

20周年記念事業実行委員会

目 次

○ くま子ゆうゆうプラザ 20 周年を迎えて	柿原 順子	青山 里美	1	
○ 20 周年を祝して	柿沼 光夫	金子 雄司	飯島祐紀夫	2
	穂村 憲久	星野 和子	岸 輝美	3
○ くま子ゆうゆうプラザ 20 年の歩み				
開校 平成 17 年度～5 期 平成 21 年度				4
6 期 平成 22 年度～10 周年平成 26 年度				5
○ 平成 27 年度 11 期				6
○ 平成 28 年度 12 期				7
○ 平成 29 年度 13 期				8
○ 平成 30 年度 14 期				9
○ 令和元年度 15 期				10
○ 令和 2 年度 16 期				11
○ 令和 3 年度 17 期				12
○ 令和 4 年度 18 期				13
○ 令和 5 年度 19 期				14
○ 令和 6 年度 20 期				15
○ 30 周年 50 周年を目指して				16
○ くま子ゆうゆうプラザとわたし 20 年に思うこと				17
○ ありがとう 地域サポーターの皆様				19
○ おめでとう くま子ゆうゆう				20
○ くま子ゆうゆうプラザ 思い出の写真				21

くきっ子ゆうゆうプラザ 20 周年を迎えて

くきっ子ゆうゆうプラザ 実施委員長 柿原 順子



くきっ子ゆうゆうプラザはお陰様で 20 周年を迎えることができました。私とくきっ子ゆうゆうプラザとの出会いは、地域の回覧板でサポーター募集を見つけたからでした。丁度何をして過ごそうかと、思案中でした。子ども達との活動楽しそうだと、早速、久喜小学校に FAX。くきっ子ゆうゆうプラザは平成 17 年開校したばかりでした。夏休みに子ども達と七夕飾りをしたことを思い出しました。

私は 10 周年目に実施委員長を仰せつかりました。設立当初の「子ども達のために居場所をつくろう」との思いを、サポーター皆様と協力してやってきました。子ども達は瞳を輝かせ伸び伸びと活動し、土曜教室は親子で楽しく過ごしています。16 年目、新型コロナウイルス感染症が全世界に広がりを見せ、その後、学校は 4 月から休校になり、子ども達はオンライン授業となりました。このコロナ禍の 3 年は、何度かの活動中止を繰り返すも、サポーターの皆様のご理解・ご支援により活動を続けることができました。

毎年、実施委員会では申込書等の事務処理の負担軽減が課題でした。そこで ICT に精通した桐原さんにご相談し、協力をお願いし、配信まで桐原さんとみんなで繰り返し検討を重ね、そして 19 年目に申し込み、集金等一連の事務処理がとても楽になりました。

くきっ子ゆうゆうプラザが、これからも、「より楽しく 明るく 元気よく」なが〜く続いていきますよう皆様のご支援をお願いいたします。

久喜市立久喜小学校 校長 青山 里美



くきっ子ゆうゆうプラザの開校が 20 周年を迎えたことを、心からお祝い申し上げます。平成 17 年に誕生した久喜市で最初のくきっ子ゆうゆうプラザは、「子どもは地域の宝」とする恵まれた地域性により誕生したものと感じております。開校当初から多くの子ども達が活動に参加しておりました。実施委員長の柿原順子様をはじめ、実施委員の皆様、開校当初から支えて頂いております皆様のご尽力に、心から感謝申し上げます。

20 周年記念事業「せんぜん館フェスティバル」で見せて頂いたペットボトルロケットが空高く飛んでいく様子は、日本の未来を担う子ども達の健やかな成長と重なって見えました。「放課後子ども教室」が人との信頼関係や繋がりが広がり、久喜小・本町小・久喜北小 3 校の子ども達と保護者、実施委員等サポーターをはじめとした地域の皆様の集いの場になったことに感銘を受けました。

「くきっ子ゆうゆうプラザ」の魅力は、多くの人との交流と多様な体験活動にあります。子ども達がキラキラと目を輝かせるスポーツ・文化・芸術等の多様な活動は地域の方々の暖かい眼差しに常に支えられています。

「くきっ子ゆうゆうプラザ」の今後の益々の発展を、心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

20周年を祝して

久喜市教育委員会 教育長 柿沼 光夫

このたび、くっ子ゆうゆうプラザが設立 20 周年を迎えられたこと心からお祝い申し上げます

柿原実施委員長をはじめ、歴代委員長、実施委員・サポーターならびにゆうゆうプラザ運営に関わられた多くの皆様のご尽力に対し、深く敬意を表すとともに、心からの感謝を申し上げます

さて、「くっ子ゆうゆうプラザ」は、平成 17 年 7 月に久喜小学校において本市初の「放課後子ども教室」として誕生し、現在市内全小学校で実施されているゆうゆうプラザの常に模範となってきました。私自身も平成 23 年から 3 か年度にわたり、校長として、地域・保護者の皆様と共に拘われたことを大変誇りに思っているところでございます。

本日の 20 周年を一つの契機として、関係者の皆様が一層結束をつよめ、子ども達が心豊かで健やかに育まれる環境づくりの担い手としてご活躍されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

久喜市放課後子ども教室運営委員会 会長 金子 雄司

くっ子ゆうゆうプラザ開設 20 周年、まことにおめでとうございます。

平成 17 年に地域の方々が中心となって始まったくっ子ゆうゆうプラザ。全てが初めてで情報も少ない中、組織づくりや運営等のパイオニアとなられてゆうゆうプラザの礎を築き、今日の発展をリードされていますことに、衷心より感謝申し上げます。「地域で育つ子ども達」の下にくっ子ゆうゆうプラザは多彩な講座や活動を通じて子ども達の夢を育み、できた喜びと自信を高め、人とのつながりの大切さを地域の伝統・宝として育ててまいりました。そして、ゆうゆうプラザの活動は多くの人に関わり、地域づくり・学校づくりに大いに寄与、貢献をしております。

未来を拓く子ども達の成長を目指して実施委員やサポーター、久喜小学校の先生方・保護者、コミュニティ協議会や地域の方々が連携協働する姿が子どもと共に生き生きと輝いており、くっ子ゆうゆうプラザが地域コミュニティの場として、さらに発展することを祈念しております。

久喜市放課後子ども教室運営委員会 前会長 飯島 祐紀夫

くっ子ゆうゆうプラザが開設 20 周年という記念すべき年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。また、歴代の実施委員長をはじめ日頃から子ども達のために深いご理解とご尽力をいただいております多くの皆様に改めて感謝申し上げます。

くっ子ゆうゆうプラザは、平成 17 年に「久喜市地域子供教室実行委員会」(現久喜市放課後子ども教室運営委員会)の設立と同時に、久喜市で最初のゆうゆうプラザとしてスタートしました。以来、今日まで市内ゆうゆうプラザの先頭を走ってまいりました。子ども達が参加する講座においても、スポーツ活動をはじめ、日本古来の文化芸術活動や、時代を見据えた英語活動や PC を活用した活動、ロボットの創作活動など大人たちにとっても魅力ある活動となっています。

今後とも、未来を担う子ども達の健やかな成長のために、益々のご発展とご活躍を祈念し、お祝いの言葉いたします。

20周年を祝して

「継続は力なり」

久喜小学校 前校長 穂村 憲久

20 年というのは、「おぎゃあ」と生まれた赤ちゃんが、すっかり成人になっている年月ですので、ここまで継続できたことは本当にすごいことだと思います。今まで久喜小学校放課後子ども教室に関わって頂いた多くの皆様お一人お一人に心からの感謝の言葉を申し上げたい気持ちでいっぱいです。「継続は力なり」といいます。この言葉は「何事も続けることで成果が得られる」という意味のことわざです。本教室の成果を子どもの姿として具体的に求めるのは難しいことですが、ここで学んだ子ども達が、社会人となって学校に戻り、次の世代の子どもの育成に関わっていただけるこそが最大の成果だと確信しています。

30 周年、40 周年とさらに継続していくには大きなエネルギーが必要です。しかしきっとあと少しで子ども達が戻ってきてくれるに違いありません。

ありがとう くっ子ゆうゆうプラザ

久喜小学校 PTA 会長 星野 和子

ゆうゆうプラザの活動のある木曜日は、子ども達の元気いっぱいの声が、ゆうゆうプラザの受付に響き渡ります。くっ子ゆうゆうプラザは 20 年間変わらず久喜小の子ども達に、元気に笑顔で楽しく過ごす時間をプレゼントしてくれました。時には元気過ぎる子ども達が、実施委員の皆さんを困らせてしまうこともありました。

しかし、実施委員の皆さんは、いつも子ども達に暖かい声掛けをしてくださいました。20 年間、暖かい居場所を久喜小の子ども達のために作ってくださった実施委員の皆さま、そして 20 年間くっ子ゆうゆうプラザを支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

これから先も、久喜小の木曜日には、子ども達の元気な笑い声が響き渡ることを心より願っています。

くっ子ゆうゆうプラザ！ありがとう！これからもよろしくお願いします。

はじける子どもの笑顔を

久喜小学校運営協議会 会長 岸 輝美

表記肩書でこの祝詞文を書かせていただいています。私自身発足当初から運営委員、くっ子ゆうゆうプラザ実施委員にあり、10 周年に続いてこの 20 周年の実行委員長を仰せつかりました。変わらぬ仲間と共にあることをうれしく思うものです。学校運営協議会はコミュニティスクールに関わる組織であり、その目的は地域とともにある学校を創り、その中で子ども達を育てることです。我が放課後子ども教室はその理念を先取りし、20 年に渡り実践してきました。あらゆる努力を傾けられた運営委員の諸兄姉、ご指導いただいた教育委員会、何よりも子ども達の笑顔を守り育てくれた実施委員・サポーター等関係された皆様に深い敬意を表するものです。

我がくっ子ゆうゆうプラザにも実施委員・サポーターの固定化、高齢化等課題は多くあります。しかし今までがそうであったように、これからも「地域の子どもは地域で育てる」の下、輝かしい未来に向けて歩み続けてまいります。はじける子どもの笑顔と共に！

くま子ゆうゆうプラザ20年の歩み

平成16年	6月市議会定例会にて実施を求める一般質問 夏から秋 実施を確認、実施に向けての準備活動に取り組む 実施予定の久喜小学校への説明・意向調査
平成17年	4月実行委員会発足 久喜小保護者への説明会 5月地域への説明会 参加募集を開始 6月第1回サポーター会議 7月2日 開校式
平成17年度 【1期】	1年を越す準備活動を経て、モデル事業として7月2日開校 市全体＝運営委員会、各実施校＝実施委員会といった組織化はなし 全体が実行委員会(15名 飯島会長) 久喜小関係者6名 参加児童202名 7、8月は第1・第3土曜日のみ 9月以降毎週月・木を追加 講座数15 暗中模索、正に手さぐりでのスタート
平成18年度 【2期】	市内2番目の実施校として久喜東小＝「さくらっ子」開校 参加児童168名 サポーター146名 毎週月・木・土・季節行事講座 講座数19
平成19年度 【3期】	この年から「地域子供教室」に代わり、「放課後子ども教室」に移行 市内3番目実施校として清久小＝清久っ子開校 3校開校に伴い市全体に運営委員会、実施校毎に実施委員会制度スタート 新実施委員長 高橋久江氏就任 参加児童156名 サポーター146名 毎週月・木、第1・第3土曜日講座 季節特別教室体制を継続 講座数19
平成20年度 【4期】	江面第一小＝なでしこ 本町小＝本町っ子 青葉小＝あおばっ子開校 市内6小学校に増加 毎週月・木、第1・第3土曜日体制維持 参加児童175名 サポーター119名 講座数22 活動日数47日 山車引き(本二)、ハロウィンパーティーが大人気 亀岡市議会、桐生市婦人会、杉戸町教育委員会等視察を多数受け入れる

平成 21 年度 【 5 期】	旧久喜市最後の年、太田小＝太田っ子、江面第二小＝光の子、青毛小＝あおげっ子、久喜北小＝ほくとっ子開校、市内全 10 校。これに伴い各校の実施委員長は運営委員に全ての実施委員・サポーターを対象に研修会を開催、現在の体制が確立 新学習指導要領を先行実施、月曜日 6 時間授業となり、毎週木、第 1・第 3 土の開校となる この年久喜市放課後子ども教室が「さいたま教育ふれあい賞」を受賞、祝賀会開催 インフルエンザが大流行、多くの活動が中止のやむなきに至る 小杉和子校長先生退任、小島廣司校長先生着任 参加児童 165 名 サポーター 115 名 活動日数 26 日 講座数 19
平成 22 年度 【 6 期】	旧久喜市・栗橋町・鷺宮町の合併により新久喜市誕生 桜田小＝桜田ゆうゆう開校 市内 11 校になる 新実施委員長に青木浩美氏就任 参加児童 169 サポーター 112 名 活動日数 32 日 講座数 22 久喜高校、鷺宮高校、東京理科大、日本工業大学等若いサポーターの参加
平成 23 年度 【 7 期】	新市 2 年目に入り、三箇小＝三箇ゆうゆう、東鷺宮＝けやきっ子、栢山小＝かやまっ子 小林小＝おばやしゆうゆう、栗橋小＝栗くりの 5 校開校、16 校になる 小島校長先生退任、柿沼光夫校長先生着任 「久喜市放課後子ども教室」が、文部科学大臣賞を受賞、祝賀会を開催 参加児童 175 名 サポーター 114 名 活動日数 31 日 講座数 22
平成 24 年度 【 8 期】	鷺宮小＝わしの子開校 市内 17 校になる 手作りの広報紙「くきっ子だより」を発行、双方向コミュニケーションを密にし、保護者の積極的なサポーターへの参加を図る 参加児童 149 名 サポーター 185 名 活動日数 26 日 講座数 19
平成 25 年度 【 9 期】	栗橋南小＝みなみっ子、菖蒲小＝しょうぶっ子開校、市内 19 校になる 久喜小文科省より研究開発校の指定をうけ(25 年～28 年)「夢創造科」を新設、研究発表を行う 参加児童 164 名 サポーター 89 名 活動日 29 日 講座数 17
平成 26 年度 【10 期】	開校 10 年を迎え実行委員会(岸輝美委員長)を組織、記念事業を実施(記念誌、記念式典、祝賀会等) 新実施委員長に柿原順子氏就任 菖蒲東小＝東っ子、砂原小＝すなはらゆうゆう、上内小＝かがやきっ子開校 22 校になる 柿沼校長先生退任(教育長就任) 田村俊一校長先生着任 参加児童 175 名 サポーター 71 名 活動日数 29 日 講座数 17

平成27年度【11期】

参加児童 177名 42%	実施委員 20名	サポーター 73名
6月11日～2月18日	木曜日20日 土曜日11日 計31日	講座数 18

* 開校 11 年目に入り、全員気を引き締めて新たな活動に入りました。

* 土曜日の講座にペットボトルロケットを開講。

木曜日講座	学習 そろばん 編み物 室内遊び フラダンス ドッジボール グラウンドゴルフ 囲碁 スポーツ吹き矢
土曜日講座	ミニテニス 理科遊び トランポリン ペットボトルロケット 押し花 フラワーアレンジ 料理 お茶 クリスマスリース

参加児童・保護者の声

「ペットボトルロケット」 50m 以上も飛びました。びっくりしました。

「お茶」 孫と参加楽しいひと時を過ごしました。また来年も参加したいです。

「料理」 子どもが嬉しそうに料理しているのを見て、我が家でも一緒にと思いました。

「トランポリン」 少しずつ上手になってきました。楽しそうで良かったです。

「押し花」 世界で一つだけのクリアファイルが作れて良かったです。大切にします。

「クリスマスリース」 きれいな作品ができて良かったです。

気を引き締めて 新たな出発

実施委員長 柿原 順子

昨年 10 年目の節目を無事に終え、今年は気もちも新たに 11 年目の出発となりました。開校当初からくきっ子ゆうゆうプラザに関わって下さいました多くの皆様には大変感謝しております。

いろいろな問題に対応しながら 11 年、継続することの大切さを日々感じております。サポーター数の減少、保護者サポーターの活性化等々、課題はたくさんあります。特に土曜日の教室は実施委員の負担を軽減したいと、数年前から土曜日は親子で参加にしました。はじめは母親の参加が多かったのですが、今年は各教室に父親と一緒に姿が増えました。少しずつ活動への理解が広がって、くきっ子ゆうゆうプラザが根付いてきた感じがいたします。これからも親子で楽しく活動できればうれしく思います。私達は、くきっ子ゆうゆうプラザの経験を通して成長した子ども達の姿を励みとし、頑張る力になっています。今後も皆様、ご支援、ご協力をお願いします。



平成28年度【12期】

参加児童数 210名 49%	実施委員 19名	サポーター 97名
6月9日～2月16日	木曜日 20日 土曜日 11日 計 31日	講座数 21

* 木曜日にヒップホップダンス、陶芸とパステル、土曜日に手芸、ミニ工作の4講座を開講しました。

* 子ども達の積極的な運営への参加を促しました。放送、開・閉校式での司会等々

木曜日講座	学習 そろばん 編み物 室内遊び フラダンス ヒップホップダンス ドッジボール 囲碁 陶芸とパステル グラウンドゴルフ スポーツ吹き矢
土曜日講座	ミニテニス 理科遊び トランポリン 手芸 花アレンジ クリスマスリース お茶 ミニ工作

参加児童・保護者の声

「陶芸とパステル」 パステルはとても面白いです。ペン型の消しゴムで色を消すと、雪の結晶になったりするので

す。

「手芸」 キューピーのストラップが2重に重なってとてもきれいなのができました。

「編み物」 いっぱいまちがえ、いっぱい直してもらいました。

「室内遊び」 おはじき、縄跳び、オセロいろいろやってみんな面白かったです。

「ヒップホップダンス」 踊るととても疲れるけど楽しかったです。

「ミニ工作」 失敗しても、失敗を考え、工夫して作り上げることはよい経験です。楽しい時間を有難うございました。

各種研修体制が充実しました

くま子ゆうゆうプラザ実施委員会

市内23全校に「ゆうゆうプラザ」が開校され、年間3つの研修体制が確立されました。

一つ目は全員研修会です。この年は長野県青木村から児童センター長 高田玲子先生をお迎えしての講演会、130名が参加しました。久喜市とは異なり豊かな自然環境の中で、川や田んぼで自分達で遊びを考える青木村の子ども達に感銘を受けました。

二つ目は、この年から市内の学校のゆうゆうプラザの見学会を実施しました。活動の様子を見たり、話を聞いたりして自分達のゆうゆうプラザに生かそうとのねらいで始まりました。209名が参加しています。

三つ目が各実施校の事例発表を受けての情報交換会です。103名が参加しました。

この3つの研修会の組織化で、実施委員・サポーターの活動意欲と資質の向上が図られたと感じました。



平成29年度【13期】

参加児童数 225名 48%	実施委員 17名	サポーター 95名
6月8日～2月16日	木曜日20日 土曜日11日 計31日	講座数 24

* 木曜日の室内遊びを遊びの広場に改称、また新たな講座として陸上、習字、フライパンスイーツ、絵手紙を開設しました。

木曜日講座	学習 そろばん 編み物 遊びの広場 ドッジボール スポーツ吹き矢 囲碁 陶芸とパステル フラダンス ヒップホップダンス グラウンドゴルフ
土曜日講座	ミニテニス 陸上 理科遊び 習字 阿波踊り 料理 お茶 クリスマスリース 絵手紙 花アレンジ ミニ工作 フライパンスイーツ

参加児童・保護者の声

《絵手紙》 私は元々絵を書くのが好きだったけど、もっと大好きになりました。

《阿波踊り》 男踊りの足が上手くできた。今度は手の動きを覚えたい。

《ヒップホップダンス》 家でやり、学童で手・足だけ 11 日の練習をやり、癖になりました。

《学習》 家より集中してできます。本も読めてラッキーです。

《グラウンドゴルフ》 優しく教えてくれて楽しかったです。もっと長くやりたかったです。

《理科遊び》 シャボン玉の中に入ったり、ジャンボ玉を創ったりで面白かったです

《陸上》 リレーが楽しかった。ハードルも楽しかった。ゲームも楽しかった。みんなみんな楽しかった。

《フライパンスイーツ》 なかなか家ではやらせてあげることができないので、みんなで協力して作ることができてよかったです。おいしかったです。

久喜小の子は幸せ

久喜小学校 校長 田村 俊一

本年も本校児童が大変お世話になり、心より感謝申し上げます。実施委員、サポーター多くの皆様に児童一人一人が楽しく活動できるように、きめ細かく暖かく対応くださり、また丁寧にご指導くださり有難うございます。

子ども達がゆうゆうプラザに参加することは教員だけの関係の学校という小さな社会では、人間関係が限られています。多くの地域の方との触れ合いによって、社会性を身に着ける大変貴重な経験となります。それが小学生という発達段階では大変大切なことと思います。土曜日の講座では子どもと一緒に保護者も参加することによって有意義な時間となり、さらに家族での楽しい話題となります。久喜小の子ども達は大勢の地域の方に暖かく接していただき幸せだなと思います。日本の将来を担う久喜小の子ども達の健やかな成長のためにも、これからも変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げます。



平成30年度【14期】

参加児童数 219名 47%	実施委員 20名	サポーター 96名
6月7日～2月14日	木曜日19日 土曜日12日 計31日	講座数 25

＊この年からその後人気講座となった、ロボットを作ろうが始まりました。久喜の天王様・提燈祭りのお囃子の講座も始まりました。土曜日講座で開校すぐから3日、祭り本番に間に合い、みなそれぞれの保存会の山車で楽しく太鼓を打っていました。

木曜日講座	学習 そろばん 編み物 遊びの広場 ヒップホップ&ダンスを作ろう ドッジボール 囲碁 グラウンドゴルフ スポーツ吹き矢 陶芸とパステル
土曜日講座	ミニテニス お囃子 陸上 ロobotを作ろう 理科遊び 習字 料理 お茶 押し花 絵手紙 花アレンジ クリスマスリース ミニ工作 楽しいイタリアン ふわふわ風

参加児童・保護者の声

「お囃子」 貴重な体験だった。刻みが出来るようになってうれしかった。
 「ロボットを作ろう」 初めてのことで細かいところが難しかったけれど楽しかった。
 「遊びの広場」 ダーツがとても面白く夢中になりました。
 「囲碁」 サポーターの方の教えが上手く、54とり0で勝ってうれしかったです。
 「楽しいイタリアン」 ミートパスタがとてもおいしかったです。家でも作ってみます。

子どもは地域の宝である。

久喜小学校 校長 穂村 憲久

今年もきっ子ゆうゆうプラザは、たくさんの皆様の「子どもは地域の宝である」という暖かい思いに支えられて、参加したそれぞれの子どもの思い出に残る活動を展開していただきました。私も時間の許す限り、子どもの様子を参観させていただきましたが、どの子どもも瞳を輝かせて、夢中になっている姿が印象的でした。地域の皆様と子ども達が、異年齢集団で楽しく触れ合いながら活動することがすっかり定着している様子が感じられました。

本校がコミュニティスクールに移行して2年の月日が経ちました。これからますます学校・保護者・地域が一体となった学校づくりが求められてまいります。本校においては、このきっ子ゆうゆうプラザが、その三者を結びつける重要な役割を果たしていることを強く感じています。

これからもきっ子ゆうゆうプラザの発展に協力し、皆様と共に、「自他ともに認めるNo.1スクール」を目指してまいります。



令和元年度【15期】

参加児童数 208名 40.8%	実施委員 20名	サポーター 94名
6月6日～2月18日	木曜日18日 土曜日12日 計30日	講座数 27

*この年発足15周年、久喜市全体で盛大に「15周年記念事業」を実施しました。11月23日(土)会場 総合体育館メインアリーナ。記念式典・表彰、演技発表、遊びの広場等々。くまっ子ゆうゆうプラザから2名が功労賞表彰、また26名が感謝状表彰を受けました。

*この年、初めてのパソコン、石けんを作ろう、ザ・つなひきの3講座がスタートしました。

木曜日講座	学習 そろばん 編み物 遊びの広場 ヒップホップ&ダンスを作ろう グラウンドゴルフ フラダンス 囲碁 ドッジボール スポーツ吹き矢 初めてのパソコン 石けんを作ろう
土曜日講座	ミニテニス お囃子体験 ロボットを作ろう 陸上 理科遊び 習字 ザ・つなひき 押し花 料理 お茶 クリスマスリース ミニ工作 絵手紙 ふわふわ凧

参加児童・保護者の声

「石けんを作ろう」 ねばねばが苦手でしたが、こねるのが好きになり面白かったです。

「ザ・つなひき」 手とわきが痛かったけど楽しかったです。

「初めてのパソコン」 私は今までパソコンはあまりしなかったけど、良い機会になりました。

久喜市放課後子ども教室開設15周年記念事業

実行委員長 飯島祐紀夫

久喜市放課後子ども教室—ゆうゆうプラザ—は、平成17年4月に「久喜市地域子供教室」実行委員会を組織、7月に久喜小学校に「くまっ子ゆうゆうプラザ」を開校しました。平成19年より新たに創設された「久喜市放課後子ども教室」として継続し活動してまいりました。平成22年3月には新久喜市が誕生、久喜市の小学校が23校となり、全校でのゆうゆうプラザの開設に向けた年となりました。平成27年には23校においてゆうゆうプラザが開設され、活動が展開されました。

こうした経緯を踏まえて本年15周年を迎えたことを祝し、これまでの足跡を振り返るとともに、未来のさらなる発展と充実を期し、令和元年11月23日に毎日興業アリーナにおいて記念行事を開催しました。記念行事は午前中に大人を主体にした「久喜市子ども教室開設15周年記念式典」、午後には子ども達を主体にした「ゆうゆうプラザ子どもまつり」が開催されました。

記念式典では、市長、議長、教育長、市議会文教委員、市内各小学校長のご来賓の列席のもと、放課後子ども教室の開設に向けご尽力いただいた運営委員、各ゆうゆうプラザ初代実施委員長25名に功労賞表彰が行われました。また、10年以上にわたり、運営スタッフや指導者としてご活躍していただいている241名の方々に感謝状が贈られました。

午後には、「ゆうゆうプラザ子どもまつり」が行われ、児童・保護者等1,000名に近い参加者がありました。簡単なセレモニーの後、子ども達は体育館に用意された数々の遊びの広場で楽しく過ごしました。また舞台ではダンスや地域に残る古典芸能などの発表があり、大きな拍手に包まれていました。最後に抽選会もあり、盛り上がりの中で記念行事を終えることが出来ました。

令和2年度【16期】

参加児童数 140名 28.6%	実施委員 22名	サポーター 88名
10月1日～2月18日	木曜日7日 土曜日5日 計12日	講座数 16

＊新型コロナウイルスの感染が世界・日本を襲いました。4月には緊急事態宣言が出され3か月に渡り休校となりました。運営委員会の方針に基づき開校も10月にずれし、安全対策の徹底を図りながらのものでした。市内では7校が休止となり、多くの学校でオンラインのみでの実施となりました。関係者全員でこの難局を乗り越える努力を重ねた1年でした

木曜日講座	学習 そろばん 編み物 フラダンス ダンスを作ろう 初めてのパソコン 陶芸とパステル グラウンドゴルフ
土曜日講座	ミニテニス ロボットを作ろう 理科遊び 陸上 クリスマスリース ミニ工作 絵手紙 ふわふわ凧

参加児童・保護者の声

「ダンスを作ろう」とても面白かったです。でもコロナで中止になり悲しかったです。

「ロボットを作ろう」とても難しかったけど、できたので遊ぶのは面白かったです。

「陸上」一杯汗をかいて、真剣にやれて陸上選んでよかったです。

コロナ禍の中……どうする

くま子ゆうゆうプラザ実施委員会

新型コロナ感染症の拡大で社会が一変した年、学校が休校となり、くま子ゆうゆうプラザの活動も休止の中、私たちは様々な問題を協議しました。今年開校するか、するとしたらその時期は、活動可能な講座は？感染リスクの中、サポーター、保護者の理解は得られるか、等々でした。私達は久喜小のガイドライン、「WITH コロナの時代を生きていくために」を参考にし、消毒の徹底、3密回避、申し込みや受付の方法、下校の工夫等々を細部にわたり検討しました。そして保護者、サポーター各位のご理解をいただき、10月に開校することが出来ました。

いつもと変わらぬ子ども達の笑顔を見ることが出来、皆感激したものでした。コロナの感染はその後でも安心できるものではありませんでした。何とかみんなの協力と努力で無事開校式を迎えたいと念じていましたが、埼玉県に緊急事態宣言が出され、活動中止のやむなきに至ったのです。今となれば思い出の一コマですが、あの時の何ともやるせない気持ちを忘れることはできません。



令和3年度【17期】

参加児童数 166名 33.9%	実施委員 26名	サポーター 50名
7月1日～2月17日	木曜日13日 土曜日8日 計21日	講座数 16

- * この年1年も新型コロナウイルス感染症に振り回されました。学校の授業同様、くまっ子ゆうゆうプラザも予定通りとはいきませんでした。
- * 来年の久喜小創立150周年にむけ、記念事業の準備が始まりました。
- * 150周年の記念事業を先取りし、論語を読もうの講座を設けました。

木曜日講座	学習 そろばん 編み物 ドッジボール グラウンドゴルフ フラダンス ダンスを作ろう
土曜日講座	ミニテニス 論語を読もう 楽しい理科実験 陸上 クリスマスリース ロボットを作ろう ミニ工作 絵手紙 ふわふわ凧

参加児童・保護者の声

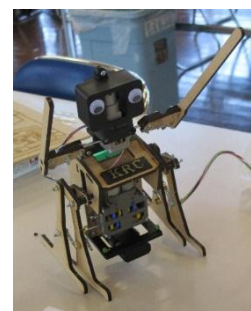
- 「論語を読もう」 とても難しいところがあった。わかったところは面白かった。
- 「編み物」 家でお母さんに手伝ってもらいました。裏編みが難しかったです。
- 「ロボットを作ろう」 何回も間違えたけど頑張り、最後に動かせてうれしかったです。
- 「ミニテニス」 とても楽しかった。6年生最後の良い思い出となりました。
- 「楽しい理科実験」 石や化石のことはよくわからないが、石を割ったら中から葉っぱの化石が出てきたのにはおどろいた。

コロナに負けず頑張ったくまっ子ゆうゆうプラザ

くまっ子ゆうゆうプラザ実施委員会

どれだけの人がこの事態を予測したでしょうか。昨年年頭に発生した新型コロナウイルス感染症はこの1年も終息の兆しすら見えませんでした。くまっ子ゆうゆうプラザも大きな影響を受けました。この年は市内で3校が開校できず、実施した各校もオンライン、動画配信でというのが多くみられました。こうした中、くまっ子ゆうゆうプラザは、体温の測定・手指の消毒・マスクの着用、3密の回避といった感染対策を徹底し、この事業の王道である「対面での実施」を追い求めました。

とはいってもなかなか大変なことでした。サポーター、保護者の皆様の理解が何よりです。市教育委員会、久喜小学校のコロナ対策を遵守せねばなりません。よく話し合っ実践し、課題・問題点を見つけてまた協議する繰り返しの毎日でした。仲間内のことですが、みんながこの時よく頑張ったなと思わずにはいられません。その結果としてくまっ子の子ども達と笑顔のふれあいになった1年間の活動でした。



令和4年度【18期】

児童数 222名 45.2%	実施委員 26名	サポーター 86名
6月16日～2月16日	木曜日14日 土曜日9日 計23日	講座数 16

- * 新型コロナ感染症が下火に向かい、ほぼ予定通りの活動ができました。
- * くっ子1番の人気講座、ドッジボールに何と102名が参加、熱気に満ち溢れました。
- * PTAで「ゆうゆう協力員」を募集、木曜日ご協力をいただきとても助かりました。
- * この年「久喜小創立150周年記念事業」を実施、記念誌刊行、キャンドルナイト、児童への講演会(論語)、学問の木＝楷の木の記念植樹、記念式典等盛大に挙行されました。その中で久喜小は絶えず地域の人と共に歩んできたことの再確認ができました。我がくっ子ゆうゆうプラザもそうしたものであることに、深い喜びと充実感を覚えました。

木曜日講座	学習 そろばん 編み物 ドッジボール グラウンドゴルフ ダンスを作ろう フラダンス
土曜日講座	陸上 ミニテニス 楽しい理科実験 クリスマスリース ロボットを作ろう 絵手紙 ふわふわ凧 ミニ工作

参加児童・保護者の声

- «フラダンス» 終わるときの「へい」というところがとても面白かったです。
- «ふわふわ凧» 楽しかった。8の字が上手く飛んだのはうれしかったです。
- «クリスマスリース» 去年とは違う出来映え、またきれいなので飾りたいです。

「くっ子ゆうゆうプラザ」への感謝

久喜小学校 校長 青山 里美

本校児童 222名が参加しているくっ子ゆうゆうプラザでは、実施委員の皆様をはじめ、多くのサポーター様のご支援とご協力を得て、子ども達が異年齢集団となって様々な体験活動をしていただいています。コロナ禍において、ご苦勞を重ねながら多くの講座を開設していただいたことに、心から感謝しております。

子ども達は自分の興味のあること、初めて体験すること、少し難しいことへの挑戦等、ワクワクしながら木曜日の活動に参加しています。また、土曜日には親子参加型の講座もあり、親子で夢中になって活動を楽しむ姿も見られました。今年度は、まなびすと久喜において、フラダンスとダンスを作ろうに参加している児童の発表がありました。楽しみながら練習を重ね、ステージに立ち、多くの方から称賛された経験は、子ども達の自信に繋がることと思います。

これからの時代は、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てていくことが重要です。くっ子ゆうゆうプラザには、その大きな役割を果たしていただいていると、実感しております。ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。



令和5年度【19期】

参加児童数 208名 42%	実施委員 24名	サポーター 93名
6月15日～2月5日	木曜日13日 土曜日10日 計23日	講座数 15

- * 参加募集から開校までの事務作業に多くの時間を割いています。久喜小 ICT 担当 桐原さんの全面的ご協力をいただき Web 登録を取り入れました。保護者の方の入力も混乱なく、その後の時間も大幅に短縮することができました。いくつかの課題も見えました。今後検討しつつ引き続き活用してまいります。
- * あまりにも参加児童の多いドッジボールを低学年対象とし、高学年対象に「ボールと遊ぼう」をスタートさせました。サッカーとベースボールを内容としています。
- * 他の多くの学校で実施されている人気講座、ポッチャを本校でも実施しました。

木曜日講座	学習 編み物 ドッジボール グラウンドゴルフ フラダンス ダンスを作ろう ポッチャ ボールと遊ぼう
土曜日講座	陸上 ミニテニス 楽しい理科実験 クリスマスリース ロボットを作ろう ミニ工作 絵手紙 ふわふわ風 習字 かわいい花アレンジ

参加児童・保護者の声

- «ボールと遊ぼう» 野球、サッカー両方ともスポ少でやっている人と大きな差があった
 «ポッチャ» 僕らの年から始まった。ボールを正確に投げるのが難しかった。
 «陸上» 面白くやっていたけど、途中で休止になり残念だった。

くま子ゆうゆうプラザ事務処理のICT化

ICT担当 桐原 宏

令和4年秋、ゆうゆうプラザの事務処理化のために、一部のPCのスキルをお持ちの方に大きな負担がかかっている実態を目の当たりにし、ゆうゆうプラザ本来の趣旨に沿って「無駄な時間を削減し、児童と接する時間に振り向ける」ための具体的な改善策案を柿原委員長に提案しました。

- 1 運営に必要な情報は参加児童の保護者に入力していただく
- 2 運営に必要な資料は応募データをもとに再入力無しで作成できるようにする
- 3 保険代金集金はQRコードを使い、読み取るだけで照合不要で集金チェックを完了させる

実施委員の皆さんで議論の結果、令和5年度からくま子ゆうゆうプラザとして、ICT化実施の決断をしていただきICT化が動き出しました。皆さんの多大なご協力をいただき、当初の目論見通りの仕組み安定運用が実現しました。ご支援いただいた皆様に感謝いたします。

今後も自律的・継続的に仕組みを運用・前進させていくために、市内ゆうゆうプラザICTサポーターの仲間づくりを推し進め、素晴らしいゆうゆうプラザの価値を更に高められるように、微力ながら力を注いでいきたいと思います。



令和6年度【20期】

参加児童数 215名 40.4%	実施委員 24名	サポーター 59名
6月13日～2月13日	木曜日 13日 土曜日 11日 計 24日	講座数 22

- * 平成17年開校以降20年目を迎えたきっ子ゆうゆうプラザ。20周年を振り返り、30年さらに50年と未来へつなぐ一つの節目として20周年記念事業を実施します。実行委員会を発足させ、記念誌発行・記念式典・祝賀会を行うことを全員一致で確認しました。
- * 新講座は、子ども達が主体的にきっ子ゆうゆうプラザにかかわっていくことを目的にした子どもサポーターのほかマイルーム・マイホーム、ラン・ラン・ラン、また、市全体としての20周年記念事業ゆうゆうプラザフェスティバルの一環として「せんぜん館フェスティバル」を位置づけました。

木曜日講座	学習 編み物 フラダンス ダンスを作ろう ドッジボール ボールと遊ぼう グラウンドゴルフ マイルーム・マイホーム 子どもサポーター
土曜日講座	習字 かわいい花アレンジ ポッチャ ふわふわ風 楽しい理科実験 絵手紙 ミニテニス ロボットを作ろう やさしいトールペイント クリスマスリース ミニ工作 ラン・ラン・ラン せんぜん館フェスティバル

20周年を祝う「ゆうゆうプラザ IN せんぜん館フェスティバル」

久喜小・本町小・久喜北小 3校合同にて10月19日(土)開催 於久喜小
 <内容> ペットボトルロケットを飛ばそう(屋外)・紙コップピラミッド・ボール落とし・昔の遊び(屋内)



児童(3校)77名・サポーター・実施委員を含め当日の参加者は238名。みんなで仲良く楽しく活動し、20周年を祝いました。なお、長きにわたりゆうゆうプラザにご尽力をいただいた11名の皆様に子ども達から感謝状をお渡ししました。
 ～これからも続くよ ゆうゆうプラザ～

30周年 50周年を目指して

20周年記念事業実行委員会 委員長 岸 輝美

くきっ子ゆうゆうプラザは、ここに20周年を迎えました。平成16年ふと覗いた文科省のH・P、「子どもの居場所づくり新プラン・地域子供教室」に大きな衝撃を受けました。久喜でやりたい、久喜なら出来る、そんな思いに突き動かされながら教育委員会へのお願い、承認、開校準備と走り回ったものでした。久喜小1校から市内全21校、202名から2,942名、延べ参加43,000名弱という数字を見ながら、懐かしく当時を思い起こしています。

この状況を生んだのは何なのでしょう。教育委員会・運営委員会の指導、学校の協力、そして実施委員会・サポーターの努力、いろいろありますが何といてもこの事業そのもののすばらしさが第一です。キーワードは、「子ども・育成・地域」です。地域の子どもを地域が育てていくということです。そしてその過程で元気な地域社会を作っていくということです。この3つのキーワードは「コミュニティスクール」、「地域学校協働活動」そして「コミュニティ協議会」、「スポーツ少年団」すべてを貫きます。今のあらゆる教育活動・地域活動のハンドルでありエンジンなのです。

私たちはこの20年に関わった全ての人たちの努力、子どもの笑顔、活動理念のすばらしさを思うとき、だから、何としてもこの事業を30年、50年へと維持・充実させていかなければなりません。しかし簡単なことではありません。ご承知のように今、市内で(県・全国)地域活動・市民活動は停滞・低落化状況にあるからです。市民まつり、スポーツレクリエーション団体、PTA、生涯学習推進活動等々。「ゆうゆうプラザ」も例外ではありません。しゃにむに全校実施を目指した頃がピークでした。15周年を終えた頃から指導者等の高齢化・固定化・疲弊化が目立ってきました。私のように単に理念を述べるだけでなく、現状に即した対応を考えねばなりません。

- ★毎年新実施委員を迎え入れるよう最大限努めること
- ★そのためにも学校と保護者をつなぐPTA役員の勧誘を図ること
- ★固定化の傾向にあるサポーターも連絡を密にし、新人獲得に努めること
- ★会議は多すぎても、少なすぎてもいけない、時間は長すぎても短すぎてもいけない。十分なコミュニケーションをとり、風通しの良い組織運営を図ること
- ★すでに実践されている事務作業のデジタル化を進め、作業時間の短縮を図ること
- ★20周年で実施した子どもサポーターの活用を図り、本体への運営参加を図ること
- ★経験主義・マンネリを排し、実施委員会を中心に学校・サポーター・保護者等との十分なコミュニケーションをとること

久喜小の教育目標は「イノベーション力の育成」です。変化に対応し、生きる力を育むことを指します。こうした力は大勢の地域の人に触れながら、様々な体験を積むことによってより育つとされています。「ゆうゆうプラザ」はその最たるものです。私たちはそうした中で同時に自己を高め、地域の活性化＝コミュニティの創造を図っていくのです。私たちはたゆむことなくこの道を歩き続けていきましょう。20年というこの時に立ち、30年、50年を目指しながら。



平成17年7月 ゆうゆう初のイベント『七夕』子ども達と飾り付け、校門に飾った。8月上旬に久喜駅の広場に5日間飾られた。

くきっ子ゆうゆうプラザとわたし 20年に思うこと

前久喜市放課後子ども教室運営委員会統括コーディネーター 柿沼 公男

なかよく、楽しく、元気よく心豊かな場、友(ゆう)と仲よく遊(ゆう)ぶこと、すなわち「ゆうゆうプラザ」です。
「くきっ子ゆうゆうプラザ」は、20周年を迎えられたとの事、まことにおめでとうございます。児童の皆さんは沢山の思い出づくりができたことと存じます。
これからもこの活動が継続され、ますます発展されますことを祈念いたします。

くきっ子は子どもが主役です

実施委員(学習担当) 茂木 康旦

くきっ子ゆうゆうプラザは、地域住民が主体となり子どもの居場所づくりとして実施してから20周年という大きな節目を迎えることができました。これも多くの皆様方のご支援・ご協力のたまものと敬意と感謝を申し上げます。

私も微力ながら実施委員として学習を担当、20年間参加させていただいています。20年間の活動の結果、アンケートから子ども達の声を聞いています。

- 1・教室は異年齢児童との交流なので友達が増え、楽しく活動できた。
- 2・地域の方との交流なので、学外であったとき挨拶ができるようになった。
- 3・好きな教室に参加して、スポーツや芸術や趣味等楽しみながら身についた。

くきっ子ゆうゆうプラザは、子どもが主役です。これからも地域・家庭・学校の皆様方に、さらなるご理解とご協力をいただきながら、30年50年に向けて「継続は力なり」で頑張っていきたいと思います。

ボールと遊ぼう

実施委員(ボールと遊ぼう担当) 野口 恭子

新型コロナウイルスが少し落ち着いてきた2年前の7月に、夫とドッジボールのサポーターとしてくきっ子ゆうゆうプラザに参加しました。

ドッジボールは低学年から高学年まで大変人気があり人数も多いので、昨年から高学年は『ボールと遊ぼう』と題して、野球とサッカーを交互にする教室を立ち上げました。

『ボールと遊ぼう』2年目は、ドッジボールの復活を希望する意見があったので、野球・サッカーにドッジボールを加え、おまけに雨天時には室内でスリッパ卓球をする企画にして、思う存分身体を動かして日頃のストレスを発散してもらおうと思っています。

些細なことで喧嘩になって悔し涙を流した子も、何年か後には思い出になってくれるといいなと思いながら子ども達を見守っています。



子ども達の健全な成長を願って

実施委員（グラウンドゴルフ担当） 小谷野 通男

平成 17 年くきっ子ゆうゆうプラザが設立され、私も卒業生・地域の 1 人として参加しました。最初はドッジボールの手伝いで、指導経験もないし、ルール・コートづくりもわからず、本を見て基本的なことを覚え、2 つのチームに分けて試合形式で行いました。しかし今の子どもは大勢で遊ぶのは苦手だと感じました。かつての子ども達は、大勢で群れを成して野原や路地を駆け回り、友達と遊んだり喧嘩したり、お互いの存在を確認し生きる意思や希望を育んでいました。最近は遊んでいる姿が見当たらない。屋外で遊ぶ子が消え、屋内で 1 人遊びの子が多くなってしまった感じです。

こうした子ども達が様々な人に会うことができ、異なる体験ができ、体を動かし、健康づくりに協力していく考えです。そして将来子ども達が地域づくりや社会づくりに貢献できる人間に育ってほしいと思います。私も子ども達から元気をもらい、多くの人と知り合うことで 20 年という長い年月お手伝いができたのだと思っています。

私の元気の源です

実施委員（習字 子どもサポーター担当） 田沼 勝子

私がくきっ子ゆうゆうプラザの実施委員をお引き受けしたのは、今から 8 年前のことですが、それに加えて習字の講座を担当することになりました。特に、書道の師範でもなく、有段者でもないのですが、子どもの頃から書くことは好きでしたので昔取った杵柄、習字の基本を伝え、子ども達と楽しく学べればと考え現在も継続しています。

初めて筆を持つ子どももいるため筆の持ち方から始めます。また、一緒に筆をもって運筆の練習もします。自己満足ではありますがそれなりに子ども達は上達するものと実感しています。また、毎年リピーターの子もいることはうれしい限りです。そろばんの地域サポーターの補助も担当させていただきましたが、子ども達は足し算・引き算はもとより、掛け算・割り算まで習得できることに感動しました。

子どもと共に活動することは何よりも私の元気の源。地域の皆様と共に、これからも子ども達の健やかな成長を願い笑顔を楽しみに活動してまいります。

生涯スポーツとして

ボッチャ指導者 山川 憲一

くきっ子ゆうゆうプラザ 20 周年おめでとうございます。

放課後子ども教室ゆうゆうプラザに、パラスポーツボッチャを活動の一つに加えて頂き 2 年目となりました。多くの子ども達が、ボッチャを楽しみにして参加する回数が増え、みるみる上達していきます。指導している私達も驚かされます。好奇心が旺盛でルールやマナーを覚えるのも早く、積極的に審判をしたいと言う子どもが現れ成長している姿を感じられます。ボッチャは、久喜市のスポーツ推進計画にもありますように、「いつでも どこでも 誰でも いつまでも」と正に標語と重なっているスポーツです。青少年の健全な育成、地域活動の役割へと大きな関わりを持っています。今後は地域共生社会としても、生涯スポーツとしても、益々取り組まれると考えております。



ありがとう

地域サポーターの皆様

楽しい理科実験

みんなで協力してソーバルーンができてよかったです（5年）
家では体験させてあげられないので良い体験をさせていただき感謝しています。（保護者）

編み物

いつもやさしく教えていただきありがとうございます。ポシェットができるのが楽しみです。
来年も最高学年としてメリハリをもって頑張ります。（5年）

ボールと遊ぼう

いつも晴れの日、サッカー、ドッジボール、雨の日、スリッパ卓球の用意をしてくれて有難うございます。楽しいです。（4年）

グラウンドゴルフ

初めてやるので心配でした。やり方を色々教えてもらってやったら、上手にできました。うれしかったし、楽しくなりました。（3年）

フラダンス

フラダンスはたくさんのふりつけがあるんですね。とても楽しいです。いつもやさしく、ていねいに教えていただき、ありがとうございます。（4年）

ダンスを作ろう

瀬田先生、渡辺先生、いつも素敵なダンスを教えていただき本当に感謝しています。2月のまなびすと発表会では、きれいなダンスをみんなと踊るので楽しみにしています。（3年）

おめでとう

くみっ子ゆうゆう

学 習

本を読んだり、宿題をやったり、自主学習をやったりできてうれしいです。図書室の本も読めるので楽しいです。(4年)

ドッジボール

ドッジボールはおもしろいし、楽しいです。

ちょっとずるをする子もいるけどにぎやかで楽しいです。(3年)

ダンスを作ろう

私はダンスを作ろうで、みんなで相談してみんなの考えや意見が合わさっていいダンスを作れるのが楽しいです。(3年)

花アレンジ

色々な花があってうれしかったです。その花を組み合わせるのも楽しかったです。来年もやりたいです。(3年)

マイルーム・マイホーム

宿題をしたり、他の学年とかかわりを持ったりして、とても充実しているゆうゆうです。(5年)

自由に絵を描いたり、自分で考えたことがやれてとても楽しいです。(5年)

習 字

何枚も書いて字がうまくなりました。(3年)

筆の持ち方から書き方まで楽しく学べたようです。(保護者)

思い出の写真



受付の様子







スポーツ吹き矢



ヒップホップ



遊びの広場



ダンスを作ろう



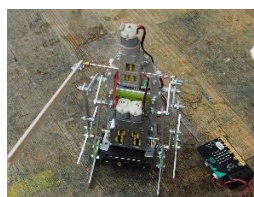
ポツチャ



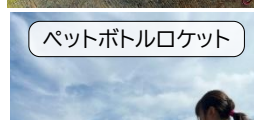
マイルーム・マイホーム



ミニ工作



論語を読もう



ペットボトルロケット



ロボットを作ろう



楽しいイタリアン



お囃子体験



トランポリン



陸上



ラン・ラン・ラン



フラワーアレンジ



押し花



理科実験



料理



習字



ボールペイント



理科遊び



お茶



クリスマスリース



かわいい花アレンジ



ミニテニス



ザ・つなひき



フライパンスイーツ



ふわふわ風



手芸



絵手紙

**令和6年度 20期 久喜市放課後子ども教室・くきっ子ゆうゆうプラザ実施委員
20周年記念事業実行委員会**（敬称略・順不同）

柿原 順子	小谷野 通男	茂木 康旦	岸 輝美	飯島 祐紀夫
青木 浩美	高橋 久江	山中 大吾	杉村 榮一	鈴木 貴徳
桐原 多美	田沼 勝子	野口 恭子	高橋 律子	武田 美穂
福島 恵理子	瀬田 洋子	坂田 里沙	矢島 美奈	中山 和美
村上 祥子	野口 真生	星野 和子		

20周年を迎えることができました。長きにわたる皆様方のご協力に感謝申し上げます。
元気な子ども達と元気な地域社会、私たちはこれからもこの道を歩み続けてまいります。
くきっ子達のはじける笑顔と一緒に！

今までご協力いただいた実施委員の皆様（敬称略・順不同）

足立 敦子	車田 貞	斉藤 忠雄	足立 史子	荻野 広子
三田 幸子	倉持 弘子	谷口 友子	伊藤 一美	五十嵐 久美子
鈴木 利賀子	小磯 純子	諏訪 浩代		

ご協力ありがとうございました。



久喜市放課後子ども教室

くきっ子ゆうゆうプラザ

20周年記念誌

発行 「くきっ子ゆうゆうプラザ」実施委員会

編集 20周年記念事業実行委員会

令和7年1月吉日